

委員会の審査から

市議会には、4つの常任委員会が設置されており、本会議で付託された議案・請願、所管事務調査による行政報告等、各所管事項について詳細にわたり審査を行っています。その中から、各委員会の主な審査状況をお知らせします。

文教社会

3月25日・26日・27日に議案7件、請願3件の審査を行いました。

「新町田市史」発刊の促進を求める請願

委員 新たな市史を編さんする場合、期間と費用、人員はどれぐらいを想定されるか。
生涯学習部次長 八王子市、府中市、立川市などの事例を参考に人口や面積等々市の規模から想定をした場合ですが、期間は着手から10年間ほど、総費用は約7億円から8億円、人員体制は事務局20名程度、市史編さん審議会委員として10名程度、編集委員、調査員60名程度の規模になるのではないかと想定をしています。
委員 費用が高いから着手できないのか。
生涯学習部次長 専門性が高い市史は、内容が非常に難しく図書としても非常にボリュームのあるものになってい

ます。現時点では、地域の歴史を広く市民へ紹介するためわかりやすい解説文と3Dを含む写真で構成され、いつでもごらんいただける町田デジタルミュージアムの構築をまず先行したいと考えています。
委員 デジタルミュージアムは市史の代用になるのか。
生涯学習総務課担当課長 市史の代用になるとは認識はしていませんが、多くの市民の方に町田の歴史をわかりやすく理解していただくには、デジタルミュージアムが向いていると考えています。専門的な内容は、自由民権資料館と文化財係に問い合わせいただくように案内する予定です。
委員 デジタルミュージアムと並行して、市史についても70周年に向けて検討するべきではないのか。

生涯学習総務課担当課長 デジタルミュージアムを構成するときに、一番古いところから現代までを網羅的に、どういう資料があるのか、チェックをします。ある意味、市史編さんの簡易的な確認作業と同じことになりまして、構築を通じて課題などを検討したいと考えています。
委員 次の町田市史編さんに当たるとすれば、生涯学習部が担当することになるのか。
生涯学習部次長 最近は博物館、図書館、そういうものの資料保管、保存、収集を行っている部署が窓口になり、そこを引き継いで市史編さん室を担っていくと聞いていますので、町田市の場合で言えば、自由民権資料館がそういった役割を担っていくのではないかと考えています。

総務

3月25日・26日に議案4件の審査を行いました。

包括外部監査契約の締結について

委員 常勤監査制度の範囲の中で十分できるのではないかとと思うが、包括外部監査をやっている理由は。
経営改革室課長 市政運営へのチェック機能の強化、あとは市政の透明性の向上、そして、それをもって市民からの信頼を高めるということで、やはり、外部からの視点というところを非常に重視していますので、こういった目的を達成するためには最適な方法だと思っています。
委員 外部監査制度を導入した効果をどう考えるか。
経営改革室課長 外部の視点の中で、全庁横断的にやるというところが、18年度は非常に効果があったので、大変

評価をしています。未来づくりプロジェクト推進費

（仮称）国際工芸美術館整備事業について
委員 芹ヶ谷公園のパートナー選定の準備を進めていくことについて、視点とか基準、その辺の考えは。
企画政策課担当課長 市民と進めたいと思っているこの事業の目的、芹ヶ谷公園芸術の杜、パークミュージアムであるという、このコンセプトを最も実現してくれる事業者を選定するところが大前提になると思っています。そのため、今後検討を進めますが、選定に至っては、事業の方針とかを要求水準書みたいな形で、市は事業者に対して事業

目的とかコンセプトを明確にし、しっかりと示していく必要があると考えています。また、審査の構成委員についても専門的知識を有した学識経験者とか、地域の特性に精通した方で構成されている事例もありますので、ふさわしいあり方を今後検討していきたい。
委員 まちづくりという観点では地域密着的な視点、地元密着的なものの視点というのは持っているのか。
企画政策課担当課長 公園全体が体験型のミュージアムである、それを市民と一緒につくり上げていくんだというところを大事なコンセプトにしていますので、当然、地域密着で、常日ごろから市民の方々の活動がそこから生まれていくような公園をつくり上げていきたいと思っています。

建設

3月25日・26日に議案9件の審査を行いました。

都計道3・4・34号線（南大谷）の築造事業費について

委員 スケジュールはどのような形になっているか。
道路整備課長 20年度は用地取得に必要な用地測量を進めていく予定です。それに伴い、事業認可の取得までを目指していきたいと考えています。
委員 市政懇談会で市長は早くても10年ぐらいとお話されたことを耳にしているがこの辺との整合性はどうか。
道路整備課長 何年で完了というのはなかなか答えづらいですが、幾つか都市計画道路を進めており、例えば金森00メートル区間があったの

ですが、事業認可を取得してから実際に工事が終わるまでは9年かかっています。それ以外に、3・4・37号線という通りが約500メートルあったのですが、こちらが8年かかっています。この3・4・34号線は距離が約1・4キロありますので、10数年かかってしまうのではないかと考えています。
多摩都市モノレール 推進費
小田急町田駅周辺 まちづくり調査負担金
委員 どんなことを調査するのか、調査期間はどの程度を見ているのか、相手はどういう事業者なのか。
多摩都市モノレール推進室長 19年3月に小田急電鉄と多摩都市モノレール町田方面

延伸を見据えた小田急線町田駅周辺まちづくりの検討に関する協定書を結びました。具体的な内容ですが、将来の小田急町田駅付近の立体化に向けた調査検討を協働で行うというものです。町田駅周辺の土地建物の利用状況の整理とか、踏切の遮断時間や遮断交通量についての整理を行って、それらを踏まえて実施手法や影響範囲についての調査検討を協働で行うというものです。期間は、19年度と20年度の2カ年でこの調査は終了させていって、その内容によって、今後事業化に向けたさまざまな調整に入っていくという状態です。相手方は当然小田急電鉄ということですので、協定を結んだので、調査に係る予算を小田急と折半するので負担金という形です。

健康福祉

3月25日・26日に議案9件、請願2件の審査を行いました。

障がい者サービス 給付事業費 借上費補助金

委員 前年度より予算が減っていると思うが、その内容について聞きたい。
障がい福祉課長 昨年度までは家賃の55%を補助とさせていたのですが、20年度に関しては補助率を45%に引き下げている関係で、少し減額になっています。
委員 10%削減、かなり厳しい割合と受けとめるが、どのように判断されたのか。施設の声とか実態については把握されているのか。
障がい福祉課長 16年度から年に1回のヒアリングをさせていただいて、全施設を回って、施設の削減の状況は確

認させていただいています。さまざまな給付費が上がっていく中で、市としても補助については見直しを考えていくということもあり、運営状況等を加味した中で、45%で判断させていただいています。
委員 採用とか人の定着とか大変だという声も聞いている。国とか都とか、制度も利用し、今の補助で言う50%ぐらいを目安にキープできるような話し合いをしてもいいのではないのか。
障がい福祉課長 21年度以降の6年間の計画を立てている予定になっています。実際に事業所にとってどういった補助であったり支援が有効なのかは、計画を踏まえて考えていきたいと思っています。都や国の補助、人的支援に対しての補助等も幾つか新たな

メニューも出ていますので、今後検討していきたいと思えます。
障がい福祉施設整備費 グループホームの整備費
委員 グループホームの増設等、今年度予算化したところ、目標も含めて伺いたい。
障がい福祉課担当課長 新たにグループホームを開設する際の初度調弁費になります。
障がい福祉課長 軽度の方のグループホームがふえていくこともあり、利用する上でのマッチングがうまくいかなど課題も出ています。今後に向けて、重度の方を受けとめていただくグループホームをふやしていきたいかなければいけないことは、方向性としてあります。